

3

Once upon a time, there was a man named Yataro in a village.

Yataro was a young man, but he never tried to work hard. He just wanted to live an easy life.

One day, Yataro was taking a walk in a forest.

“Huh? I hear someone talking behind the bush.”

Yataro took a close look. There were some foxes gathered around chatting.



5

Guess what? The foxes were competing against each other to see who was the best ^{*1} shape-shifter.

The foxes were shape-shifting into little kids, horses, ^{*2} manju, and into tea kettle.

Everyone was doing quite well.

And Yataro thought,

(Uh-huh, they are pretty good…… Oh, wait a minute, maybe they can help me make a lot of money……)



むかし むかし、とある むらに、
やたろう という おとこがいました。

やたろうは まだ わかいのに ろくに はたらきもせず、
まいにち らくすること ばかり かんがえていました。

あるひ、やたろうが はやしの なかを さんぽしていると。

「ん、なんだ？しげみの むこうから、
はなしごえが きこえるぞ」

やたろうが こえのするほうを のぞいてみると、
そこでは すうひきの きつねたちが あつまって、
なにやら はなしを していました。



なんと きつねたちは、
いかに じょうずに ばけるかを きそう、
ばけくらべを していたのです。

きつねたちは、こどもに ばけ、うまに ばけ、
まんじゅうに ばけ、ちやがまに ばけ。
みんな なかなか うまいものです。

(ほうほう、こいつは また みごとなもんだ・・ん、さてよ、
あいつらを りょうして、
いっぱつ どかんと もうけらんねえかな・・)

やたろうは そう かんがえました。

